



建築家として26歳で独立した堀部さんは、これまで20余年にわたり、住宅を中心として、90を超える作品を手掛けてきました。その建築は、時として近寄りたがたい厳格なプロポーションを持ちながらも、ひとたびその空間に身をゆだねると、「絶妙なスケール感覚」、「居心地が良い」、「懐かしい感覚を覚える」などといった、親しみのある言葉で表現されることがしばしばです。そんな堀部さんの初期作から新作までを紐解くTOTOギャラリー・間での「堀部安嗣展 建築の居場所」から、約一年が経ちました。会場で上映された、14の建築作品と、そこに流れる静かな時間を切り取った短編ドキュメンタリー映画「堀部安嗣 建築の鼓動」は、全国各地で上映が続き、静かな感動が広がっています。堀部さんが幼少期から思春期までを過ごしたここ浜松でも上映会を行うことになりました。会場にはTOTOギャラリー・間での展示作品に加え、堀部さんから浜松へ贈る言葉や、最新作・客船「guntû (ガンツウ)」の企画から就航までを追った映像も並ぶ予定です。3月16日(金)には堀部さんがお見えになりますので、講演や座談会をお楽しみください。浜松で、堀部さんは何を見て何を思い、どんな時間を過ごしていたのでしょうか。ここでしか見ることのできない「堀部安嗣の建築の世界」を体験してみませんか。ぜひお運びいただけますと幸いです。



堀部安嗣 (ほりべやすし) 建築家・京都造形芸術大学大学院教授

1967年生まれ。筑波大学卒業後、1994年に堀部安嗣建築設計事務所設立。2007年より京都造形芸術大学大学院教授。2002年第18回吉岡賞、2016年日本建築学会賞(作品)を受賞。著書に『堀部安嗣の建築—form and imagination』(2007年、TOTO出版)、『書庫を建てる—一万冊の本を収める狭小住宅プロジェクト』(2014年、新潮社)、『堀部安嗣作品集 1994-2014 全建築と設計図集』(2015年、平凡社)、『堀部安嗣 建築を気持ちで考える』(2017年、TOTO出版)、『小さな五角形の家 全図面と設計の現場』(2017年、学芸出版社)など

◎映画上映と堀部安嗣さんを囲む会

日時：2018年3月16日(金) 17時から20時30分まで

- 16:30 開場・受付開始
- 17:00～17:30 映画「堀部安嗣 建築の鼓動」上映
- 17:30～20:00 堀部さんの講演と座談会(各1時間程度)
- 20:00～20:30 本の販売とサイン会

会場：静岡文化芸術大学 東棟1階 総合演習室

会費：一般1,500円、建築士会々員1,000円、学生500円(ドリンク付)

定員：80名(要予約、申込先着順)

申込方法：メールのタイトルを「文芸大で映画」とし、①お名前・お仕事(学生の方はその旨)②人数(一般、会員、学生を明記)③メールアドレス④堀部さんへのメッセージや座談会で聞きたいことをご記入の上、seibu-b@shizu-shikai.com(静岡県建築士会西部ブロック事務局)までお申し込みください。結果は10日以内にメールでお知らせします。

申込受付開始日：2018年2月17日(土)10時～(定員になり次第終了)

問合せ先：seibu-b@shizu-shikai.com 静岡県建築士会西部ブロック事務局

▷アクセス

徒歩：JR「浜松」駅北口より徒歩15分

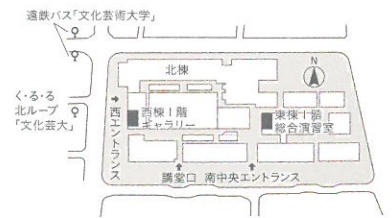
遠州鉄道「遠州病院」駅より徒歩8分

バス：JR「浜松」駅北口バスターミナルより

①10番のりば：遠鉄バス71～78、85系乗車「文化芸術大学」下車(2系70系を除く)

②12番のりば：浜松市循環まちバスく・る・る「まちなか北ループ」乗車「文化芸大」下車

*来場者用の駐車場がありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



表：guntû (ガンツウ) (2017年)、上：竹林寺庫裏 (2017年)、下左から：ある町医者の記念館 (1995年)、阿佐ヶ谷の書庫 (2013年)、竹林寺納骨堂 (2013年)、浜松の家 (2014年) いずれも photo by Yasushi Horibe

